

平成 26 年

定期代議員会議案書

日 時 平成 26 年 3 月 16 日 (日)
会 場 横須賀市 よこすか平安閣

神奈川県ソフトテニス連盟

平成 26 年 定期代議員会議案書

目 次

平成 26 年 定期代議員会次第	2
表彰者名簿	3
議案第 1 号 平成 26 年度事業計画案	9
<1>事業方針	9
<2>大会日程ならびに会場	11
<3>大会要項（中央大会等県外大会）について	11
<4>平成 26 年度本県主管事業	13
<5>平成 26 年度登録方法と会費について	14
<6>平成 26 年度登録補助金について	14
議案第 2 号 平成 26 年度予算案	15
1. 総収入支出予算額	15
2. 一般会計収支予算書	16
3. 特別会計	19
(1) 国体関係費特別会計収支予算書	19
(2) 強化補助事業費特別会計収支予算書	20
(3) 関東ソフトテニス選手権大会特別会計収支予算書	21
(4) 関東小学生ソフトテニス選手権大会特別会計収支予算書	22
別表	
収入	
1. 登録会費収入の内訳	23
2. 大会参加料収入の内訳	24
3. 補助金収入の内訳	25
支出	
1. 大会参加料の内訳	25
議案第 3 号 スポーツ活動における暴力行為根絶に向けての取り組みについて	26
議案第 4 号 役員倫理規程および倫理委員会規程の制定について	27
代議員	28

平成 26 年 定期代議員会次第

1. 開会のことば 県連理事長 増田 大吾
2. 挨拶 会長 河野 洋平
3. 議長推薦
4. 議長挨拶
5. 議事 議案第 1 号 平成 26 年度事業計画案
議案第 2 号 平成 26 年度予算案
議案第 3 号 スポーツ活動における暴力行為根絶
に向けての取り組みについて
議案第 4 号 役員倫理規程および倫理委員会規程
の制定について
6. 表彰式 日本ソフトテニス連盟表彰
支部功労賞 2 名
優良団体賞 1 団体
最優秀監督 1 名
ランキング 10 名
神奈川県ソフトテニス連盟表彰
地域功労賞 10 名
優良団体 1 団体
ランキング第 1 位 36 名
優秀賞（個人） 191 名（139 名）
優秀賞（団体） 6 団体（5 団体）
7. 受彰者代表謝辞
8. 閉会のことば

※懇親会

表 彰 者 名 簿

日本ソフトテニス連盟表彰

- 1 支部功労賞
柳川 守造 殿（県連盟代議員）
小林 由孝 殿（県連盟代議員）
- 2 優良団体賞
桜倶楽部（藤沢協会）
- 3 最優秀監督
大島 史子（領家中学校）
- 4 ランキング
シニア男子 60 第3位 阿部 藤彦 殿（三菱重工相模原）
第3位 鈴木 敏雄 殿（横須賀ソフトテニスクラブ）
シニア男子 70 第1位 青木 東平 殿（茅ヶ崎クラブ）
第2位 大野 太郎 殿（ひまわりスポーツクラブ）
第2位 柳川 真寛 殿（金剛寺クラブ）
シニア女子 70 第3位 幾田 靖子 殿（小槻クラブ）
シニア混合 50 第1位 金子 由美 殿（横浜スマイル）
第1位 関和 栄次 殿（厚木クラブ）
中学男子 第5位 石川 由樹 殿（領家中学校）
第5位 荒井 良介 殿（領家中学校）

神奈川県ソフトテニス連盟表彰

- 1 地域功労賞
平松 栄一 殿（横浜協会推薦）
竹下 久則 殿（川崎協会推薦）
作村 博 殿（横須賀協会推薦）
常盤香代子 殿（小田原協会推薦）
加藤 節子 殿（相模原協会推薦）
小野 俊幸 殿（県央協会推薦）
小林 弘満 殿（平塚協会推薦）
荒木 律彦 殿（高体連推薦）
今野 元 殿（県学連推薦）
久保田良介 殿（県中体連推薦）
- 2 優良団体賞
横浜シティクラブ 殿（県レディース連盟推薦）

3 優秀賞（個人）

(1) ランキング第1位

中学男子	近藤 昂 殿	飯田 脩三 殿 (厚木市立小鮎中学校)
中学女子	高宮 莉那 殿	原田 若菜 殿 (大磯町立大磯中学校)
高校男子	尾登 駿一 殿	飯田 達朗 殿 (県立秦野高等学校)
高校女子	帆足 真鈴 殿	北原 衣織 殿 (相洋高等学校)
大学男子	小川 隼介 殿	為我井健吾 殿 (東海大学)
大学女子	杉山あやめ 殿	吉田七海帆 殿 (東海大学)
一般男子	菅原 友貴 殿	今野 翔太 殿 (桜倶楽部・JOHNN'S)
一般女子	堀越あき穂 殿	加藤 梨穂 殿 (桜倶楽部)
成年男子	鈴木 清志 殿	赤澤 稔 殿 (桜倶楽部・JX 日鉱日石金属倉見)
シニア男子45	米山 豊 殿	大中 和彦 殿 (厚木テニスクラブ・平塚市役所)
シニア男子55	穂坂 高志 殿	池田 章夫 殿 (ひまわりスポーツクラブ)
シニア女子55	神沢 明美 殿	大熊扶左恵 殿 (太陽クラブ・戸塚会)
シニア男60	阿部 藤彦 殿	鈴木 敏雄 殿 (三菱重工相模原・横須賀ソフトテニスクラブ)
シニア女子60	松浦 和子 殿	松尾美恵子 殿 (フコクテニスクラブ・秦野クラブ)
シニア男子65	西村 泰 殿	高橋 良一 殿 (JFE 鉄友会)
シニア女子65	大矢千鶴子 殿	安藤 泰子 殿 (ひまわりスポーツクラブ・横浜シティクラブ)
シニア男子70	青木 東平 殿	野地 光明 殿 (茅ヶ崎クラブ・日本スポーツマンズクラブ)
シニア女子70	黒田 妙子 殿	幾田 靖子 殿 (日の出川クラブ・小槻クラブ)

(2) 神奈川県選手権大会

小学校低学年男子	菅野晃太郎 殿	永嶋 太一 殿 (南大師ジュニア)
小学校低学年女子	長谷川日紀 殿	渡辺 結奈 殿 (横浜泉ジュニア)
小学校高学年男子	伊東 祐哉 殿	神崎 礁吾 殿 (伊勢原ジュニア)
小学校高学年女子	高橋 友南 殿	伊東 未来 殿 (大磯ジュニア)
中学校男子	矢野 陽大 殿	渡部 濤治 殿 (横浜市立中和田中学校)
中学校女子	岩尾 真穂 殿	矢野 礼実 殿 (横浜市立領家中学校)
高校男子	梅澤 史人 殿	横田 直弥 殿 (相洋高等学校)
高校女子	後藤 理子 殿	檜山ちはる 殿 (相洋高等学校)
大学男子	佐久間英希 殿	吉井 健史 殿 (東海大学)
大学女子	鈴木 ゆう 殿	吉田 海櫻 殿 (東海大学)
一般男子	田中 貴輝 殿	岡田 将太 殿 (桜倶楽部)
一般女子	堀越あき穂 殿	加藤 梨穂 殿 (桜倶楽部)
成年男子	鈴木 清志 殿	赤澤 稔 殿 (桜倶楽部・JX 日鉱日石金属倉見)
シニア男子45	清水 孝 殿	石崎 勝 殿 (東陵クラブ・厚木市役所)

シニア男子 5 5	熊田 敏彦 殿	浜田 豊 殿 (横浜ドリームズ・逗子クラブ)
シニア女子 5 5	松崎 朋子 殿	福田 節子 殿 (湘南クラブ)
シニア男子 6 0	内田 洋一 殿	福田 芳道 殿 (神中倶楽部・アズビル)
シニア女子 6 0	松浦 和子 殿	松尾美恵子 殿 (フコクテニスクラブ・秦野クラブ)
シニア男子 6 5	伊東 隆二 殿	鍵和田敏雄 殿 (秦野クラブ・なでしこクラブ)
シニア女子 6 5	大矢千鶴子 殿	安藤 泰子 殿 (ひまわりスポーツクラブ・横浜シティクラブ)
シニア男子 7 0	青木 東平 殿	野地 光明 殿 (茅ヶ崎クラブ・日本スポーツマンズクラブ)
シニア女子 7 0	黒田 妙子 殿	幾田 靖子 殿 (日の出川クラブ・小槻クラブ)

(3) 全国高等学校定時制通信制大会

男子団体優勝	県立横浜修悠館高等学校		
	監督	阿比留徹朗 殿	
	選手	相澤健太郎 殿	上園 奎太 殿 益子 峻之 殿
		熊谷 雄太 殿	太田 翔 殿 濱上 仁志 殿
男子個人 準優勝	相澤健太郎 殿	上園 奎太 殿	(県立横浜修悠館高等学校)
第3位	益子 峻之 殿	熊谷 雄太 殿	(県立横浜修悠館高等学校)
第3位	太田 翔 殿	濱上 仁志 殿	(県立横浜修悠館高等学校)

(4) 関東選手権大会

成年男子	準優勝	後藤 靖浩 殿	三木 秀幸 殿 (東海大相模OB会・厚木市役所)
成年女子	準優勝	田中 道子 殿	平松 智香 殿 (横浜レディース・せせらぎクラブ)
シニア女子 4 5	優 勝	安藤 桂子 殿	西川 淳子 殿 (横浜レディース・むつみクラブ)
シニア男子 6 0	準優勝	阿部 藤彦 殿	鈴木 敏雄 殿 (三菱重工相模原・横須賀ソフトテニスクラブ)
シニア女子 6 0	第3位	市川 富子 殿	(横浜レディース)
シニア男子 6 5	準優勝	西村 泰 殿	高橋 良一 殿 (JFE 鉄友会)
シニア男子 7 0	第3位	野地 光明 殿	(日本スポーツマンズクラブ)
シニア女子 7 0	第3位	幾田 靖子 殿	(小槻クラブ)
シニア男子 7 5	準優勝	栗田 舜二 殿	石田 輝夫 殿 (金剛寺クラブ・ひまわりスポーツクラブ)

(5) 関東小学生選手権大会

低学年男子	第3位	増田 颯太 殿	増田 颯人 殿 (横浜泉ジュニア)
高学年女子	第3位	長谷川日紀 殿	渡辺 結奈 殿 (横浜泉ジュニア)

(6) 関東中学生選手権大会

男子団体準優勝 横浜市立領家中学校

監督 大島 史子 殿

選手 後藤 佳佑 殿 為我井洋樹 殿 石川 由樹 殿

荒井 良介 殿 岸本 大輝 殿 水島 隆斗 殿

山崎 颯馬 殿 野口 友之 殿

(7) 関東高校選抜ソフトテニス大会

男子団体2位 横浜創英高等学校

監督 松口 良也 殿

選手 宮木 舜平 殿 大畑裕太郎 殿 和泉 輝 殿

中木 大夢 殿 押見 陸 殿 黒木 友輔 殿

菊池 開斗 殿 高橋 慈英 殿

女子団体3位 日本大学藤沢高等学校

監督 石井 匠 殿

選手 大澤なつみ 殿 磯崎 茜 殿 宇藤 明奈 殿

石井 美有 殿 三浦 遥香 殿 横山 芽吹 殿

漆谷 夢生 殿 大場 桃花 殿

(8) 関東家庭婦人大会

シニア女子45 優勝 安藤 桂子 殿 西川 淳子 殿 (横浜レディース・むつみクラブ)

シニア女子50 第3位 金子 由美 殿 加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)

シニア女子65 第3位 秋山千代子 殿 渡辺 利子 殿 (太陽クラブ・御所見クラブ)

(9) 関東実業団ソフトテニスリーグ戦

個人成年男子 優勝 周東 努 殿 福田 芳道 殿 (アズビル)

第3位 望月 祥成 殿 草野 陽介 殿 (アズビル)

団体 第2位 厚木市役所

(10) 国民体育大会関東ブロック大会

成年男子 第2位

監督 本吉 睦久 殿 (横須賀ソフトテニスクラブ)

コーチ 大島 幸人 殿 (クレシア)

選手 松口 友也 殿 (ヨネックス)
 山口 大地 殿 (日体大桜友会)
 小林 幸司 殿 (ミズノ)
 福田 勝吾 殿 (ショーワコーポレーション)
 石川 裕基 殿 (厚木市役所)
 石黒 湧己 殿 (厚木市役所)
 佐久間英希 殿 (東海大学)
 菅原 貴之 殿 (東海大学)

(11) 東日本選手権大会

成年男子 優勝 井上 和仁 殿 (厚木市役所)
 シニア男子60 第3位 阿部 藤彦 殿 鈴木 敏雄 殿 (三菱重工相模原・横須賀ソフトテニスクラブ)
 シニア男子65 準優勝 谷山 征男 殿 (茅ヶ崎クラブ)
 シニア男子70 準優勝 大野 太郎 殿 柳川 真寛 殿 (ひまわりスポーツクラブ・金剛寺クラブ)
 シニア男子70 第3位 青木 東平 殿 (茅ヶ崎クラブ)
 シニア女子75 第3位 湯原 蒨江 殿 安田 淳子 殿 (港北軟庭会・横浜健康福祉クラブ)

(12) 全日本シニア選手権大会

シニア男子60 第3位 阿部 藤彦 殿 鈴木 敏雄 殿 (三菱重工相模原・横須賀ソフトテニスクラブ)
 シニア男子70 優勝 青木 東平 殿 (茅ヶ崎クラブ)
 シニア男子70 準優勝 大野 太郎 殿 柳川 真寛 殿 (ひまわりスポーツクラブ・金剛寺クラブ)
 シニア女子70 第3位 幾田 靖子 殿 (小槻クラブ)
 シニア混合50 優勝 金子 由美 殿 関和 栄次 殿 (横浜スマイル・厚木クラブ)

(13) 全日本レディース大会 (個人戦)

ばらブロック 優勝 安藤 桂子 殿 田中 道子 殿 (横浜レディース)
 さつきブロック 第3位 幾田 靖子 殿 (小槻クラブ)
 ももブロック 準優勝 秋山 春子 殿 (横浜健康福祉クラブ)

(14) 全国中学校選手権大会

男子団体準優勝 横浜市立領家中学校
 監督 大島 史子 殿
 選手 後藤 佳佑 殿 為我井洋樹 殿 石川 由樹 殿
 荒井 良介 殿 岸本 大輝 殿 水島 隆斗 殿
 山崎 颯馬 殿 野口 友之 殿

(15) 全国小学生大会

6年生女子シングルス 第3位 鈴木 優美 殿 (横浜 PSC)

(16) 都道府県対抗中学生大会

男子シングルス 第3位 松元 康希 殿 (秦野市立大根中学校)

4 優秀賞 (団体)

関東高校選抜大会	男子	準優勝	横浜創英高等学校
	女子	第3位	日本大学藤沢高等学校
関東実業団リーグ	男子	第2位	厚木市役所
関東中学生選手権大会	男子	準優勝	横浜市立領家中学校
全国高等学校定時制通信制大会	男子	優勝	県立横浜修悠館高等学校
全国中学校選手権大会	男子	優勝	横浜市立領家中学校

議案第 1 号 平成 26 年度事業計画案

<1> 事業方針

1. 競技者育成プログラムの推進
 - ・一貫指導システムを構築しジュニア強化・競技力向上を図る。
2. 国体総合優勝・中央大会上位入賞を目標とする。
3. 会員登録制度（日本連盟）の周知徹底を図り会員登録を定着させ、さらに推進する。
4. IT 化を推進する。
 - ・IT 会員登録システムの活用により、事務処理の効率化と登録料納付の向上を図る。
 - ・会員登録システムに連動し審判、技術等級の認定管理を行う。
 - ・IT システムを活用して、審判、技術等級の資格チェックと大会申込手続きの効率化を図る。
5. 主催大会の開催ならびに支援大会への協力を行う。
6. 日本連盟主催各種研修会（1 級審判員、小・中・高指導者等）への派遣を行う。
7. 関東選手権大会と関東小学生選手権大会を本県で開催、主管する。
8. 競技性の向上を図る。
 - ・ゼッケンの統一化
高体連未定、中体連は、28 年度より指定のゼッケンを着用する。
〔白の台布に黒文字特大ゴシック・上段に都道府県学連・中段に名前・下段に所属名（企業名、クラブ名、学校名）〕
参加の条件としてゼッケンの着用を義務付け、マッチ中の展開が誰からも判るように工夫し競技性の向上を図る。
9. 協会、学連、高体連、レディース連盟間の交流を図る。
 - (1) 競技人口の拡充を図る。
 - (2) 競技力向上の促進
10. 県内普及事業の実施
 - (1) 小学生養成、初心者指導・スポーツ教室・指導者講習会の開催及び助成
 - (2) 公認審判員資格講習会の開催ならびに審判員の指導育成
 - (3) ジュニア審判普及の促進（小学生と中学生を対象とする。）
 - ・小学生低学年用ジュニア審判マニュアルの活用（日本連盟）
 - (4) マスターレフェリーおよびマスターアンパイヤーの認定（50 歳以上）
 - (5) 公認指導員制度の促進と指導者バンクの活用
 - ・国民体育大会の監督は 2012 年から公認スポーツ指導者公認指導員、公認ソフトテニスコーチとすることが義務づけられた。選手と兼ねることはできない。
 - ・本県にて 26 年度に指導員養成研修会を実施し公認指導員の拡充を図る。
 - ・公認スポーツ資格取得者を対象とした資格更新のための研修会に積極的に参加させる。
 - ・指導者バンクの活用による指導者不足の解消を図る。
 - (6) 技術等級・指導員資格認定
 - ①名誉指導員の認定 ②技術等級の認定（大会実績、検定会）

- ・技術等級制度の周知、徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。
- (7) 生涯スポーツとして普及・振興するための研究
- ①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
 - ②ソフトテニス愛好者増加対策
 - ・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する、またレディースを含めた社会人を対象として愛好者増加対策事業を実施した地域協会等を支援する。
- (8) ソフトテニス週間の実施
- ・10月の体育の日（月）を中心とした1週間にソフトテニスを楽しむ。
 - ・10月18日（土）平塚市立軟式庭球場に於いて「小学生と保護者テニス教室」を開催する。
11. スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成を図る。
- (1) 大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図る。そして、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に作る生活習慣を徹底する。
- ・連盟主催大会での横断幕・ポスター・リーフレット・プログラム等の掲出及び配布
 - ・大会会場では、来たときよりもキレイに！をモットーに
 - ・マイボトルの推進
 - ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加
- (2) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進
- ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレーの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組む。
 - そしてソフトテニスに誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。
 - ＊「フェアプレーで日本を元気に」フェアプレー宣言キャンペーン活動の推進
 - ・マナーキッズプロジェクト（NPO）と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる。
 - ・暴力根絶に向けての意識啓発を図り、相談窓口を設置（第3号議案参照）
12. 強化事業を実施する。
- (1) 県内強化事業
- (ア) 国体総合優勝と中央大会上位入賞を目指しての強化合宿・練習会の実施
 - (イ) 競技力向上ジュニア対策強化育成練習ならびに関東中学校研修大会等の実施
 - (ウ) 小・中・高・大学・レディース等の強化事業に対する助成
- (2) 県外強化事業
- ・中央大会、近都県大会への積極的な選手団派遣
13. 調査、研究を行う。
- (1) 組織、人口、登録方法の調査の実施

(2) 既存大会の整備、実施方法について検討

14. 広報活動の促進を図る。

(1) 大会記録集の作成と一般広報活動

(2) 新聞・ソフトテニス雑誌報道

(3) ホームページの充実

・日本連盟ホームページを周知し、活用してもらう。

(4) 日本ソフトテニス連盟 TV の支局である神奈川 TV の積極的展開を図る。

(小・中・高・社会人各層のソフトテニス活動の映像配信)

<2> 大会日程ならびに会場

別紙大会日程表のとおり

<3> 大会要項（中央大会等県外大会）について

※中央大会等県外大会へ出場する場合は、ゼッケンを必ず着用すること。

大きさ……B5 版（タテ 18.2cm、ヨコ 25.7cm）

表示方法……団体戦・個人戦共、黒文字特大ゴシック上段(1/4) 県名、中段(1/2) 名前、
下段(1/4) 所属名の 3 段式

1. 関東選手権大会（5 月 24 日（土）・25 日（日）雨天順延 5 月 26 日（月）神奈川県・厚木市他）
 - ・県予選会を実施する。（各種別共、申し込みが選出ペア数に満たなくとも予選会を行ない、ベスト 4 まで決定し県代表に推薦。但し申し込みが 4 ペア以内の場合は予選会を行わない）
 - ・昨年度より 80 才以上の種別を男女とも新設した。ただし参加申込が 8 ペア未満の場合は 75 才以上の種別に組み入れるものとする。
 - ・前年度大会の成績 8 本以内は、関東連盟からの推薦により出場できる。（但し同一ペアに限る。）
（予選会による県代表選出ペア数）…… 一般男女 32 ペア、成年男女・シニア 45 男女・
シニア 50 男女・シニア 55 男女・シニア 60 男女・
シニア 65 男女・シニア 70 男女・シニア 75 男女・
シニア 80 男女は 16 ペア
 - ・中央大会参加料は県連負担
 - ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
2. 東日本選手権大会（7 月 19 日（土）・20 日（日）（予備日）21 日（月）青森県・弘前市他）
 - ・全種別共フリー出場とし、県予選会を実施しない。
 - ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
※審判資格のない者は、大会までに実施する講習会に必ず参加のこと。
 - ・種別は関東大会と同じだが、シニア 80 はシニア 75 に組み入れられる。
 - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
3. 全日本社会人選手権大会（9 月 6 日（土）・7 日（日）京都府・福知山市）
 - ・県予選会を実施する。

- (県代表選出ペア数) …一般男女 20 ペア、成年男女 12 ペア
- ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、成年は審判資格
4. 全日本シニア選手権大会 (9 月 12 日 (金) ~14 日 (日) 徳島県・徳島市他)
- ・昨年度より 80 才以上の種別を男女とも新設された。ただし参加申込が 8 ペア未満の場合は 75 才以上の種別に組み入れるものとする。
 - ・種別 … シニア 45 男女・50 男女・55 男女・60 男女・65 男女・70 男女・75 男女・80 男女・混 45・混 50・混 55・混 60・混 65
 - ・全種別共フリー出場 (県予選会を行わない) 1 人 1 種別。ただし、混合ダブルスは重複参加可能
 - ・中央大会参加資格…審判資格
5. 全日本選手権大会 (10 月 24 日 (金) ~26 日 (日) 秋田県・大館市)
- ・男子、女子とも県予選会を実施する。ただし、本部推薦ペアを除く。
 - (県代表選出ペア数) …両種別共 4 ペア
 - ・中央大会参加資格……関東・全日本社会人大会の一般と同じ。
6. 全日本実業団選手権大会 (7 月 25 日 (金) ~27 日 (日) 和歌山県・白浜町)
- ・男子、女子種別共県予選会を実施する。
 - (県代表選出チーム数) ……男子 4 チーム、女子 4 チーム
 - ・厚木市役所は大会実績により、本部推薦にて出場
7. 全日本クラブ選手権大会 (11 月 1 日 (土)・2 日 (日) 千葉県・白子町)
- ・団体戦……県予選会を行わずフリー出場とする。
8. 全日本レディース大会 (8 月 19 日 (火) ~21 日 (木) 宮城県・仙台市)
- ・全種別県予選会を実施する。ただし、はぎ、あじさい、さくら、ふじの 4 種別は県大会のみ。
 - (県代表選出ペア数) ……すみれ 1 ペア、ばら 1 ペア、ゆり 1 ペア、きく 1 ペア、あやめ 1 ペアで 1 チーム
9. 国民体育大会 (10 月 13 日 (月) ~10 月 16 日 (木) 長崎県・佐世保市)
- ・全種別共予選会・選考会を実施 (第 1 次予選会以降は選考会により県代表選手を決定・県連盟推薦も併用)
10. 関東小学生選手権大会 (7 月 5 日 (土)・6 日 (日) 神奈川県・厚木市)
 全日本小学生選手権大会 (7 月 31 日 (木) ~3 日 (日) 大分県・大分市)
 全国小学生大会 (平成 27 年 3 月 29 日 (日) ~31 日 (火) 千葉県・白子町)
- ・関東・全日本は県予選会を実施する。選出ペア数……関東は高学年男女各 8 ペア、低学年男女各 4 ペア、全日本は男女各 4 ペア (全国小学生大会はダブルス①5 年生の部②4 年生以下の部男女各 4 ペア以内、シングルス 6 年生の部男女各 2 名以内)
11. 関東実業団リーグ (7 月 5 日 (土)・7 月 6 日 (日) 千葉県・白子町)
- ・団体戦・個人戦
 - ・県予選会を行わず、フリー出場とする。
 - ・団体戦は、ダブルス 2 ペア、シングルス 1 名の対抗戦とし、チームの編成は監督 1 名、選

手 8 名以内とする。

- ・団体戦は 5 チームのリーグ戦で同レベル同士が対戦する部制となっている。
- 12. 国民体育大会関東ブロック大会（8 月 16 日（土）～17 日（日）栃木県・那須塩原市）
 - ・県予選会を実施する。
 - ・種別…少年男子、成年男子、成年女子
- 13. 関東家庭婦人大会（9 月 29 日（月）・30 日（火）東京都・江東区有明テニスの森公園コート）
 - ・全種別予選会を実施する。
- 14. 日本スポーツマスターズ（9 月 20 日（土）～22 日（月）埼玉県・未定）
 - 種別…35 男女、45 男女、混合（35 女・45 男）
 - ・全種別予選会を実施する。
- 15. 静岡県・神奈川県対抗大会（9 月 21 日（日）神奈川県小田原市）
 - ・全種別共県予選会を行わず、国体代表選手を優先し、神奈川県連盟が推薦する。
- 16. ねんりんピック（10 月 4 日（土）～6 日（月）栃木県・那須塩原市他）
 - ・地域を考慮して県連盟が代表チームを推薦する。（小田原ソフトテニス協会を連盟が県代表チームとして推薦）
（横浜市、川崎市、相模原市は政令市チームとして別に参加）

<4> 平成 26 年度本県主管事業

1. 関東ソフトテニス選手権大会

日 程 平成 26 年 5 月 24 日（土）開会式・大会
5 月 25 日（日）大会
5 月 26 日（月）予備日

会 場 厚木市南毛利テニスコート,小田原テニスガーデン,横浜市三ツ沢テニスコート

2. 関東小学生ソフトテニス選手権大会

日 程 平成 26 年 7 月 5 日（土）開会式・個人戦
7 月 6 日（日）団体戦
7 月 7 日（月）予備日

会 場 厚木市南毛利テニスコート・荻野運動公園テニスコート（個人戦のみ）

<5> 平成 26 年度登録方法と会費について

- 登録方法は、各団体から直接（公財）日本ソフトテニス連盟のホームページにある会員登録システムを活用して県連盟と日本連盟へ登録することとする。ただし、大学は、学連経由とし、レディースは一括登録とする。
- 登録会費は次のとおりとする。

区 分			金 額（年額）
団体登録	社会人団体	県連盟	15,000円（1団体）
	学 連	〃	3,000円（1校）
	高 体 連	〃	6,000円（1校）
	中 体 連	〃	2,000円（男女別1校）
	レ デ ィ ー ス	〃	50,000円（一括）
会員登録	社 会 人	日本連盟	1,000円（1名）
		県連盟	1,000円（1名）
	学 連	日本連盟	※日本学連経由で登録 500円（1名）
		県連盟	500円（1名）
	高 体 連	日本連盟	500円（1名）
	中 体 連	日本連盟	500円（1名）
	小 学 生	日本連盟	500円（1名）
	指 導 者	日本連盟	1,000円（1名）

<6> 平成 26 年度登録補助金について

団体名		
地 域 協 会	1 団体（県連盟分）	4,000円
	会員登録 1 名（日本連盟分）	100円
	〃（県連盟分）	100円
学 連	1 校（県連盟分）	2,000円
高 体 連	1 校（県連盟分）	4,000円
	1 名（日本連盟分）	50円
中 体 連	1 校（県連盟分）	1,900円
	1 名（日本連盟分）	100円
レ デ ィ ー ス	一括	30,000円

※団体からの登録に対する補助金は、4.管理費、4.運営費補助として、個人からの日本連盟と県連盟への登録に対する補助金は、1.事業費、3.指導普及費、1.指導者、地域、ジュニア育成費で還元する。

議案第2号 平成26年度予算案

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

1. 総収入支出予算額

項 目	収 入		支 出	
	26 年度予算額 <small>円</small>	25 年度予算額 <small>円</small>	26 年度予算額 <small>円</small>	25 年度予算額 <small>円</small>
一 般 会 計	36,416,500	34,221,000	36,416,500	34,221,000
特 別 会 計	15,470,000	12,640,000	15,470,000	12,640,000
合 計	51,886,500	46,861,000	51,886,500	46,861,000

特 別 基 金	3,500,000 <small>円</small>
---------	----------------------------

特別会計の内訳

項 目	収 入		支 出	
	26 年度予算額 <small>円</small>	25 年度予算額 <small>円</small>	26 年度予算額 <small>円</small>	25 年度予算額 <small>円</small>
国 体 関 係 費	4,560,000	3,660,000	4,560,000	3,660,000
強 化 補 助 事 業 費	3,320,000	3,500,000	3,320,000	3,500,000
関 東 選 手 権 大 会	5,860,000	0	5,860,000	0
関 東 小 学 生 選 手 権 大 会	1,730,000	0	1,730,000	0
国 体 関 東 ブ ロ ッ ク 大 会		5,480,000		5,480,000
合 計	15,470,000	12,640,000	15,470,000	12,640,000

2. 一般会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

款	項	目	26年度予算額	25年度予算額	差引額	説明
1.		登録会費収入	18,059,000	18,027,000	32,000	別紙参照 (23 ページ)
	1.	団体登録料	3,629,000	3,727,000	△98,000	
		1. 社会団体	1,500,000	1,620,000	△120,000	
		2. 学連	39,000	33,000	6,000	
		3. 高体連	780,000	774,000	6,000	
		4. 中体連	1,260,000	1,250,000	10,000	
		5. レディース連盟	50,000	50,000	0	
	2.	会員登録料	14,430,000	14,300,000	130,000	
		1. 日本連盟	13,220,000	13,010,000	210,000	
		2. 県連盟	1,210,000	1,290,000	△80,000	
2.		事業収入	11,164,500	10,653,000	511,500	
	1.	大会参加料	6,984,500	6,783,000	201,500	別紙参照 (24 ページ)
	2.	審判関係収入	4,100,000	3,780,000	320,000	
		1. 講習会参加料	350,000	300,000	50,000	
		2. 認定料	2,900,000	2,680,000	220,000	
		3. ハンドブック収入	850,000	800,000	50,000	
	3.	技術等級関係収入	80,000	90,000	△10,000	
		1. 認定料	80,000	90,000	△10,000	
3.		賛助会費収入	800,000	800,000	0	
	1.	賛助会費収入	800,000	800,000	0	
4.		補助金収入	3,793,000	3,441,000	352,000	別紙参照 (25 ページ)
	1.	日本連盟	3,678,000	3,266,000	412,000	
	2.	県社会福祉協議会	75,000	75,000	0	
	3.	大会実行委員会	40,000	0	40,000	
	4.	関東連盟	0	100,000	△100,000	
5.		雑収入	500,000	500,000	0	
	1.	雑収入	500,000	500,000	0	
6.		繰越金	2,100,000	800,000	1,300,000	前年度繰越金
	1.	繰越金	2,100,000	800,000	1,300,000	
		合計	36,416,500	34,221,000	2,195,500	

(支出の部)

単位：円

款	項	目	26年度予算額	25年度予算額	差引額	説明
1.	事業費		15,893,000	13,729,000	2,164,000	
	1.	大会関係費	3,354,000	2,570,000	784,000	
		1. 社会人大会	1,100,000	1,100,000	0	
		2. シニアフェスタ	250,000	250,000	0	※県社会福祉協議会補助 75,000
		3. 全日本レディース大会予選	70,000	70,000	0	
		4. 中学選手権・高校国体予選	800,000	750,000	50,000	※日本連盟補助 中学選手権大会 30,000
		5. 全日本小学生大会予選会	90,000	0	90,000	※日本連盟補助 小学生選手権大会 30,000
		6. 関東選手権大会特別会計繰出金	560,000	0	560,000	
		7. 関東小学生大会特別会計繰出金	484,000	0	484,000	
		関東高校選手権大会運営費補助金	0	200,000	△200,000	
		国体関東ブロック大会特別会計繰出金	0	200,000	△200,000	
	2.	大会参加料	2,729,000	2,489,000	240,000	
		1. 大会参加料	2,729,000	2,489,000	240,000	別紙参照 (25 ページ)
	3.	指導普及費	3,790,000	3,100,000	690,000	
		1. 指導者、地域、ジュニア育成費	2,800,000	2,400,000	400,000	※日本連盟補助 愛好者増加対策 150,000 地域・ジュニア育成 2,604,000 指導者研修会旅費 41,000
		2. 全日本小学生派遣費	640,000	250,000	390,000	※日本連盟補助 全日本小学生交通費 223,000 ※白子実行委員会補助 全国小学生大会 20,000
		3. ソフトテニス週間関係費	150,000	200,000	△50,000	※日本連盟補助 100,000
		4. その他指導普及費	200,000	250,000	△50,000	※日本連盟補助 日本スポーツマスターズ 100,000 ※伊勢実行委員会補助 都道府県中学生大会 20,000
	4.	競技力向上費	2,900,000	2,700,000	200,000	
		1. 選手強化費	600,000	400,000	200,000	選手強化費 ※日本連盟補助 競技者育成推進費 400,000
		2. 国体関係費特別会計繰出金	1,550,000	1,550,000	0	特別会計繰出金 (19 ページ)
		3. 強化補助特別会計繰出金	750,000	750,000	0	特別会計繰出金 (20 ページ)
	5.	審判関係費	1,000,000	950,000	50,000	
		1. 審判講習会関係費	150,000	150,000	0	
		2. ハンドブック代	750,000	700,000	50,000	
		3. その他審判関係費	100,000	100,000	0	

単位：円

款	項	目	26年度予算額	25年度予算額	差引額	説明	
6.	技術等級関係費		20,000	20,000	0		
	1.	その他技術等級関係費	20,000	20,000	0		
	7.	広報活動費		650,000	450,000	200,000	
		1.	IT推進費	200,000	200,000	0	
		2.	大会記録集作成費	150,000	150,000	0	
		3.	その他広報活動費	300,000	100,000	200,000	ソフトテニスアピール活動費
	8.	表彰費		1,450,000	1,450,000	0	
		1.	代議員会表彰費	350,000	350,000	0	
		2.	主催大会表彰費	1,100,000	1,100,000	0	
	2.	加盟費		375,000	375,000	0	
1.		日本連盟	150,000	150,000	0		
2.		東日本連盟	20,000	20,000	0		
3.		関東連盟	70,000	70,000	0		
4.		県体育協会	135,000	135,000	0		
3.	会員登録関係費		13,270,000	13,060,000	210,000		
	1.	日本連盟登録料	13,220,000	13,010,000	210,000	社会人@1,000×1,100名 高校生@500×2,850名 中学生@500×20,000名 小学生@500×330名 指導者@1,000×530名	
	2.	会員登録事務費	50,000	50,000	0		
4.	管理費		6,533,000	6,681,500	△148,500		
	1.	事務局費	1,200,000	1,200,000	0		
	2.	会議費		1,050,000	1,100,000	△50,000	
		1.	代議員会費	550,000	550,000	0	
		2.	理事会費	250,000	300,000	△50,000	
		3.	その他会議費	250,000	250,000	0	
	3.	一般管理費		2,100,000	2,200,000	△100,000	
		1.	備消耗品費	100,000	100,000	0	
		2.	印刷費	900,000	900,000	0	
		3.	通信運搬費	400,000	400,000	0	
		4.	旅費	200,000	200,000	0	
		5.	雑費	500,000	600,000	△100,000	
	4.	運営費補助		2,183,000	2,181,500	1,500	
		1.	地域協会	400,000	416,000	△16,000	@4,000×100団体
		2.	学連	36,000	32,000	4,000	@2,000×13校+10,000
3.		高体連	520,000	516,000	4,000	@4,000×130校	
4.		中体連	1,197,000	1,187,500	9,500	@1,900×630校	
5.		レディース連盟	30,000	30,000	0	一括	
5.	予備費		345,500	375,500	△30,000		
	1.	予備費	345,500	375,500	△30,000		
合 計			36,416,500	34,221,000	2,195,500		

3. 特別会計

(1) 国体関係費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 引 額	説 明
1 繰 越 金	300,000	100,000	200,000	前年度繰越金
2 国 体 派 遣 費	1,700,000	1,000,000	700,000	県国体派遣補助
3 補 助 金	170,000	170,000	0	県体協一般健康診断費補助金
4 国 体 協 力 金	290,000	290,000	0	国体予選会参加者
5 負 担 金	500,000	500,000	0	役員・選手負担金・健康診断選手
6 雑 収 入	50,000	50,000	0	寄付金等
7 一般会計繰入金	1,550,000	1,550,000	0	一般会計繰入金
合 計	4,560,000	3,660,000	900,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	26年度予算額	25年度予算額	差 引 額	説 明
1 旅 費	70,000	50,000	20,000	連絡旅費
2 通 信 運 搬 費	30,000	30,000	0	郵便料
3 会 議 費	70,000	50,000	20,000	打ち合わせ等会議費
4 印 刷 費	20,000	20,000	0	強化、結果報告等印刷費
5 大 会 参 加 料	50,000	50,000	0	ブロック・中央大会参加料
6 強 化 費	700,000	600,000	100,000	選手強化関係費
7 派 遣 費	3,300,000	2,600,000	700,000	中央大会派遣関係費
8 雑 費	70,000	50,000	20,000	ユニホーム代等
9 健 康 診 断 費	250,000	210,000	40,000	一般健康診断経費
合 計	4,560,000	3,660,000	900,000	

(2) 強化補助事業費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	26年度予算額	25年度予算額	差引額	説 明
1 県体育協会補助金	2,270,000	2,400,000	△130,000	選手強化、ジュニア強化補助金
2 一般会計繰入金	750,000	750,000	0	競技団体負担金
3 参加者負担金	300,000	350,000	△50,000	役員、選手参加負担金
合 計	3,320,000	3,500,000	△180,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	26年度予算額	25年度予算額	差引額	説 明
1 謝 金	600,000	600,000	0	指導者謝金
2 旅 費	850,000	900,000	△50,000	指導者、選手宿泊費、交通費
3 需 用 費	850,000	950,000	△100,000	消耗品、印刷費
4 通 信 運 搬 費	30,000	50,000	△20,000	切手代
5 保 険 料	200,000	200,000	0	傷害保険料
6 使用料・賃借料	350,000	300,000	50,000	コート使用料
小 計	2,880,000	3,000,000	△120,000	(補助対象経費)
7 そ の 他	440,000	500,000	△60,000	(補助対象外経費) 昼食、飲物代等
合 計	3,320,000	3,500,000	△180,000	

(3) 関東ソフトテニス選手権大会特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

項 目	予算額	摘 要
1 補助金	500,000	関東連盟 400,000 厚木市 100,000
2 繰入金	560,000	一般会計繰入金 (神奈川県ソフトテニス連盟負担金)
3 参加料	4,400,000	4,000 円×1,100 ペア
4 雑収入	400,000	広告料、プログラム代他
合 計	5,860,000	

(支出の部)

単位：円

項 目	予算額	摘 要
1 報償費	400,000	入賞者賞品代
2 旅 費	1,300,000	宿泊代・交通費等
3 消耗品費	1,200,000	大会役員・補助員ウォームアップ・大会役員帽子・ボール・事務用品
4 食料費	800,000	弁当代・会議飲食代
5 印刷製本代	1,000,000	プログラム・コピー代
6 役 務 費	100,000	大会横断幕・看板代
7 使用料及び賃借料	960,000	コート使用料・会議室使用料他
8 通 信 費	50,000	郵送料・振込手数料
9 雑 費	50,000	
合 計	5,860,000	

(4) 関東小学生ソフトテニス選手権大会特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

項 目	予算額	内 訳
1 補助金	150,000	関東連盟 50,000 厚木市 100,000
2 繰入金	484,000	一般会計繰入金 (神奈川県ソフトテニス連盟)
3 参加料	896,000	団体戦 320,000 個人戦 576,000
4 雑収入	200,000	広告料他
合 計	1,730,000	

(支出の部)

単位：円

項 目	予算額	内 訳
1 報償費	160,000	入賞者賞品代
2 旅 費	360,000	宿泊代・交通費等
3 消 耗 品	300,000	参加賞・役員ポロシャツ代・その他消耗品
4 食 料 費	300,000	弁当代・会議飲食代
5 印刷製本代	200,000	プログラム代等
6 通 信 費	30,000	資料郵送費・その他
7 役 務 費	100,000	大会横断幕・看板代
8 使 用 料 及 び 賃 借 料	228,000	コート使用料
9 雑 費	52,000	
合 計	1,730,000	

別 表	平成 26 年度予算案
-----	-------------

収 入

1. 登録会費収入（18,059,000 円）の内訳

科 目	26 年度予算		25 年度予算		備 考
	数	金 額	数	金 額	
社会団体登録料	100	1,500,000	108	1,620,000	@ 15,000 円
大学団体登録料	13	39,000	11	33,000	@ 3,000
高体連団体登録料	130	780,000	129	774,000	@ 6,000
中体連団体登録料	630	1,260,000	625	1,250,000	@ 2,000
レディース団体登録料		50,000	年 額	50,000	一括
会員登録料（社会人団体 日本連盟）	1,100	1,100,000	1,180	1,180,000	@ 1,000
”（社会人団体 県連盟）	1,100	1,100,000	1,180	1,180,000	@ 1,000
”（学 連 県連盟）	220	110,000	220	110,000	@ 500
”（高体連 日本連盟）	2,850	1,425,000	2,800	1,400,000	@ 500
”（中学生 日本連盟）	20,000	10,000,000	19,500	9,750,000	@ 500
”（小学生 日本連盟）	330	165,000	360	180,000	@ 500
”（指導者 日本連盟）	530	530,000	500	500,000	@ 1,000
合 計		18,059,000		18,027,000	

2. 大会参加料収入（6,984,500 円）の内訳

大会名		26年度予算			25年度予算		
		参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
1	春季男女 BC 級大会	10	3,000 円	30,000 円	20	3,000 円	60,000 円
2	シングルス・ミックス大会	50	3,000	150,000	50	3,000	150,000
3	春季男女大会	260	3,000	780,000	250	3,000	750,000
4	秋季男女大会	220	3,000	660,000	215	3,000	645,000
5	夏季チーム対抗大会	20	7,000	140,000	15	7,000	105,000
6	勝抜チーム対抗大会	15	6,000	90,000	15	6,000	90,000
7	県一般選手権大会	230	3,000	690,000	220	3,000	660,000
8	関東大会県予選会	250	4,000	1,000,000	230	4,000	920,000
9	東日本選手権大会	70	5,000	350,000	90	5,000	450,000
10	社会人大会県予選会	75	4,000	300,000	80	4,000	320,000
11	全日本大会県予選会	70	4,000	280,000	75	4,000	300,000
12	実業団大会県予選会	7	15,000	105,000	7	15,000	105,000
13	中学校選手権大会	296	1,000	296,000	296	1,000	296,000
14	国体少年男女県予選会	350	500	175,000	340	500	170,000
15	国体成年男女県予選会	80	2,000	160,000	55	2,000	110,000
16	関東家庭婦人県予選会	80	4,000	320,000	80	4,000	320,000
17	中学校団体対抗大会	64	3,000	192,000	64	3,000	192,000
18	関東実業団リーグ	10	21,000	210,000	10	21,000	210,000
		2	3,000	6,000	2	3,000	6,000
19	全日本クラブ選手権大会	30	16,000	480,000	25	16,000	400,000
20	全日本シニア選手権大会	50	5,000	250,000	60	5,000	300,000
21	日本スポーツマスターズ	6	4,000	24,000	8	4,000	32,000
22	シニアフェスタ	32	6,000	192,000	32	6,000	192,000
23	全日本小学生選手権	2	10,000	20,000			
24	全日本小学生大会県予選会	70	750	52,500			
25	アジア競技大会予選会	4	4,000	16,000			
26	世界選手権大会予選会	4	4,000	16,000			
合計				6,984,500			6,783,000

3. 補助金収入（3,793,000 円）の内訳

項 目	26 年度予算		25 年度予算	
	内 容	金 額	内 容	金 額
日本ソフトテニス連盟	中学生大会	30,000 ^円	中学生大会	30,000 ^円
〃	小学生選手権大会	30,000	全日本レディース大会	50,000
〃	地域クラブ育成	327,000	地域クラブ育成	344,000
〃	ジュニア育成	2,277,000	ジュニア育成	2,192,000
〃	ソフトテニス週間	100,000	ソフトテニス週間	100,000
〃	全日本小学生交通費	223,000	全日本小学生交通費	50,000
〃	競技者育成推進	400,000	競技者育成推進	400,000
〃	日本スポーツマスターズ	100,000	日本スポーツマスターズ	100,000
〃	愛好者増加対策	150,000	愛好者増加対策	0
〃	指導者研修会交通費	41,000	指導者研修会交通費	0
関東ソフトテニス連盟	関東高校選手権大会	0	関東高校選手権大会	100,000
県社会福祉協議会	シニアフェスタ	75,000	シニアフェスタ	75,000
大会実行委員会	全国小学生大会	20,000	全国小学生大会	0
〃	都道府県中学生大会	20,000	都道府県中学生大会	0
合 計		3,793,000		3,441,000

支 出

1. 大会参加料（2,729,000 円）の内訳

大 会 名	26 年度予算			25 年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
関東選手権大会	220	4,000 ^円	880,000 ^円	153	4,000 ^円	612,000 ^円
東日本選手権大会	70	4,000	280,000	90	4,000	360,000
実業団選手権大会	5	25,000	125,000	4	25,000	100,000
全日本社会人選手権大会	40	4,000	160,000	50	4,000	200,000
全日本選手権大会	10	4,000	40,000	10	4,000	40,000
関東家庭婦人大会	65	4,000	260,000	65	4,000	260,000
関東実業団リーグ	9 2	20,000 3,000	180,000 6,000	10 2	20,000 3,000	200,000 6,000
全日本クラブ選手権大会	26	15,000	390,000	25	15,000	375,000
都道府県全日本中学生	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
全日本シングルス大会	4	4,000	16,000	4	4,000	16,000
全日本シニア選手権大会	55	4,000	220,000	60	4,000	240,000
日本スポーツマスターズ	1	60,000	60,000	1	60,000	60,000
全国小学生大会	20	2,000	40,000			
全日本小学生選手権大会	2	10,000	20,000			
アジア競技大会予選会	4	4,000	16,000			
世界選手権大会予選会	4	4,000	16,000			
合 計			2,729,000			2,489,000

議案第3号 スポーツ活動における暴力行為根絶に向けての 取り組みについて

暴力行為根絶に向けて、(公財)日本ソフトテニス連盟が制定した規程に沿って取り組むため、委員会の設置と委員の選任ならびに被害救済相談、申立窓口を設置する。

1. 制定された規程

- (1) 指導基本規程
- (2) 指導基本規程違反救済申立処理委員会及び指導基本規程違反救済審査委員会規程
- (3) 平成25年12月1日制定、平成26年4月1日施行

2. 指導基本規程普及委員の選任

- (1) 委員数 11名

横浜地区、川崎地区、横須賀地区、小田原地区、藤沢地区、平塚地区、県央地区、相模原地区、県レディース連盟、県高体連専門部、県中体連専門部

以上の本連盟の加盟団体から各1名

- (2) 委員、各加盟団体の理事長あるいは責任者

3. 指導基本規程違反救済申立処理委員会の設置と委員の選任

- (1) 委員数 3名

- (2) 委員

第三者委員 藤原三津男 (元県高体連副委員長、日本体育大学講師)

役員 増田 大吾 (県連盟理事長)

選手経験者 千葉 裕子 (元県代表選手、元国体強化スタッフ)

4. 相談、申立受付窓口の設置

- (1) 受付窓口

〒239-0807 横須賀市根岸町 1-7-12

神奈川県ソフトテニス連盟内

指導基本規程違反救済申立処理委員会

電話 080-5954-8544

FAX 046-836-3145

議案第 4 号 役員倫理規程および倫理委員会規程の制定について

本連盟のガバナンスを確立し、さらにソフトテニスの振興が図られるよう、本連盟の役員に対する規程を整備する。

1. 制定する規程

(1) 役員倫理規程

(2) 倫理委員会規程

・委員長 笠井 達夫（副会長）、副委員長増田 大吾（理事長）

・委員 内藤 純一（競技委員長、平塚協会）、饗庭 功（総務委員長、藤沢協会）
米川 和幸（小田原協会）、高橋 健治（副理事長）山浦 茂雄（高体連）

(3) 平成 26 年 3 月 16 日制定、平成 26 年 4 月 1 日施行

2. 倫理委員会委員の選任

(1) 委員数 委員長 1 名、副委員長 1 名、委員 7 名以内

委員長 笠井 達夫（副会長）

副委員長 増田 大吾（理事長）

委員 内藤 純一（副理事長、競技委員長）

饗庭 功（副理事長、総務委員長）

米川 和幸（副理事長）

高橋 健治（副理事長）

山浦 茂雄（副理事長）

代議員

所 属 団 体 名	代 議 員 名
横 浜 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	梅 田 宏 司 湯 原 露 江
川 崎 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	中 村 勝 清 水 孝
横 須 賀 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	栗 本 頼 一 長 澤 孝 雄
小 田 原 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	柳 川 真 寛 勝 亦 仁
藤 沢 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	久 保 為 彦 菊 地 一 圭
平 塚 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	土 屋 眞 二 柏 木 雅 昭
県 央 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	川 又 信 夫 伊 東 和 彦
相 模 原 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	秋 山 千 代 子 柳 川 守 造
県 レ デ ィ ー ス ソ フ ト テ ニ ス 連 盟	竹 内 美 恵 子 岸 川 廣 子
県 学 生 ソ フ ト テ ニ ス 連 盟	今 野 元 前 田 厚 史
県 高 体 連 ソ フ ト テ ニ ス 専 門 部	山 本 修 山 本 敏 雄
県 中 体 連 ソ フ ト テ ニ ス 部	小 林 由 孝 井 上 春 彦